



指揮：道端 大輝

1981年島根県生まれ。東京芸術大学音楽学部指揮科卒業。安宅賞受賞。2009年「クルト・マズーア ミュージックウィーク」に参加。最優秀の評価を得て、日本人としては初のメンデルスゾーン基金奨学生に選ばれる。2010年より渡独、メンデルスゾーン基金奨学生として再びマズーア氏に師事。2012年にはヨーロッパ指揮アカデミー（ベルリン）にて最優秀の成績でディプロマを取得。2015年及び2016年には「沼尻竜典 オペラ指揮者セミナー」の受講生として選抜され、大阪交響楽団を指揮した。

これまでに日本フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、藝大フィルハーモニア管弦楽団、ロイヤルシンフォニーオーケストラ、ライブツイヒ交響楽団、ヴァルミア＝マズールィ・フィルハーモニック等を指揮。オペラ作品ではこれまでにモーツァルト、ドニゼッティ、ヴェルディ、プッチーニ等の主要作品を指揮したほか、新国立劇場オペラ部門で音楽スタッフとしても活躍している。

これまでに指揮を山本訓久、高階正光、小林研一郎、尾高忠明、下野竜也、リオール・シャンバダール、ロモロ・ゲッシ及び故クルト・マズーアの各氏に師事した。
名古屋市立菊里高校音楽科非常勤講師。

ソプラノ：首藤 玲奈

大分県別府市出身。東京芸術大学音楽学部声楽科を経て同大学修士課程独唱科卒業。学部卒業時に同声会賞受賞、同記念演奏会出演。

第14回宮日音楽コンクール最優秀賞及びグランプリ受賞、第28回飯塚新人音楽コンクール第二位、第78回日本音楽コンクール声楽部門（オペラ・アリア）第二位受賞。

東京オペラシンガーズの一員としても活動する傍ら、劇団四季「オンディース」に客演するなど、活躍は多岐に渡り、ヘンデル「メサイア」ベートーヴェン「第九」メンデルスゾーン「ラウダ・シオン」「カルミナ・ブラーナ」ソプラノソロ等、宗教曲のソリストも務める。



管弦楽：山陰フィルハーモニー管弦楽団

1973年4月、山陰で初めてのアマチュアオーケストラとして発足。

約90名の団員は、島根県、鳥取県、岡山県と広範囲から、毎週松江市に集まって練習しています。

これまでに、松江市を中心とした定期演奏会50回をはじめ、ゴールドブレンドコンサート、オペラ「椿姫」公演などのトヨタコミュニティコンサート、島根音楽祭のほか、プラバホール開館記念「第九演奏会」、同20周年「第九演奏会」、グラントワ開館記念演奏会、同開館10周年記念の県民・第九演奏会出演など、行政や企業・団体の支援により石見、隠岐など県内各地や学校、刑務所へも出かけて演奏会を行っています。

2023年2月にはしまね県民オペラ2023「ラ・ボエーム」で管弦楽を担当しました。

そのほか、毎年各県持ち回りで開催される全国アマチュアオーケストラフェスティバルや国民文化祭オーケストラの祭典にもメンバー数名が参加。公民館など地域での小アンサンブルも毎年行っています。また、1988年からは山陰フィル・ジュニアオーケストラを独自に創設し、青少年のオーケストラ活動にも取り組んでいます。

1991年に第1回島根県文化奨励賞、1993年には地域文化功労者文部大臣表彰を受賞。

島根県文化団体連合会理事。

